

開講科目名	建築空間構成論		
担当教員	末包 伸吾、未定	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと目標

近・現代建築における空間構成の理論を論ずると共に、空間構成の要素やシステムに着目した建築設計手法を具体的な事例分析を通じて検討を加える。

授業の概要と計画

1. 建築空間構成の位置づけ
2. 建築空間構成研究の諸相
3. 事例分析

成績評価方法と基準

上記事例分析のレポート

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

建築歴史・意匠に関する知識があること

オフィスアワー・連絡先

別途指示する。

学生へのメッセージ

分析のテーマについては、協議の上、決定します。

テキスト

別途指示する。

参考書・参考資料等

別途指示する。

開講科目名	市街地環境設計		
担当教員	三輪 康一	開講区分	単位数
		後期	2単位
授業のテーマと目標 市街地環境整備を行う上で必要となる空間解析の調査分析手法と環境設計理論を論ずると共に、計画・設計プロセスとしての街づくり過程を規定する諸要素について、各種事例をもとに講述する。			
授業の概要と計画 1.空間解析の調査分析手法 2.環境設計理論 3.事例分析			
成績評価方法と基準 レポートによる。			
履修上の注意(関連科目情報等を含む) 			
オフィスアワー・連絡先 オフィスアワーの日時は授業開始時に通知する。			
学生へのメッセージ 			
テキスト 			
参考書・参考資料等 テーマに即してその都度提示する。			

開講科目名	空間骨組構成論		
担当教員	藤永 隆	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと目標

建築空間を構成する骨組解析の弾塑性基礎理論を論じると共に、数値解析例について述べる。

授業の概要と計画

- ・構造設計法
- ・建築物の構造解析
- ・数値解析事例
- ・建築物の補修・補強

成績評価方法と基準

レポートの内容で評価する。

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

特になし。

オフィスアワー・連絡先

授業開始時に通知します。

学生へのメッセージ

特になし

テキスト

適宜授業時に資料を配布する。

参考書・参考資料等

適宜授業時に資料を配布する。

開講科目名	空間形成史		
担当教員	足立 裕司	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと目標

西洋の追求してきた建築と都市の形成史について、その背景にある建築理念、都市理念の変遷を含めて考察する。さらにそれらの考察を踏まえ、近代以降の都市環境について歴史的建造物の保存と都市改造との関係においても検討する。

授業の概要と計画

学期はじめに面談して授業の詳細、進め方、作業として課す内容について伝える。

成績評価方法と基準

レポートまたは発表

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

学期はじめに指示する。

オフィスアワー・連絡先

開講時に指示する。

学生へのメッセージ

なし

テキスト

必要があれば開講時に紹介する。

参考書・参考資料等

必要があれば開講時に紹介する。

開講科目名	コミュニティ空間計画論		
担当教員	山崎 寿一	開講区分	単位数
		後期	2単位
授業のテーマと目標 コミュニティ空間の計画では、地域の環境文化や近隣社会運営の仕組みとの関連を視野に入れた計画策定が必要でありそのための方法・関連分野の知見・計画理論について論述する。			
授業の概要と計画 			
成績評価方法と基準 			
履修上の注意(関連科目情報等を含む) 			
オフィスアワー・連絡先 			
学生へのメッセージ 			
テキスト 			
参考書・参考資料等 			

開講科目名	建築防火論		
担当教員	北後 明彦	開講区分	単位数
		後期	2単位
授業のテーマと目標 空間に要求される火災安全性について、空間に要求されるその他の性能を含めて総合的に充足しうる空間の形成を図るための理論と手法を火災についての物理的側面、人間についての行動・心理的側面、管理についての社会的側面から講述する。			
授業の概要と計画 			
成績評価方法と基準 			
履修上の注意(関連科目情報等を含む) 			
オフィスアワー・連絡先 			
学生へのメッセージ 			
テキスト 			
参考書・参考資料等 			

開講科目名	空間構造学		
担当教員	田淵 基嗣	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと目標

鋼構造を対象に、建築構造空間を構成する各種の骨組において、材料、部材及び接合部が骨組の強度及び塑性変形能力に与える影響について講述する。

授業の概要と計画

- ・鋼の特性
- ・柱梁接合部の局部変形
- ・柱梁接合部パネル
- ・溶接金属強度
- ・梁の脆性破壊

成績評価方法と基準

授業終了時に課すレポートにより評価。

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

特になし

オフィスアワー・連絡先

授業時に指示する。

学生へのメッセージ

テキスト

適宜資料を配布する。

参考書・参考資料等

開講科目名	構造物安定論		
担当教員	孫 玉平	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと目標

建築構造物に関する安定問題の基本原則、歴史的発展過程、各種の解析方法およびそれらを応用した構造物および構造要素の座屈解析について講述し、実務設計との関連で構造物安定論の重要性を理解させる。

授業の概要と計画

- 1) 安定問題の基本原則および歴史
- 2) 各種解析方法の背景
- 3) 板要素の弾塑性座屈解析手法
- 4) 板要素の座屈設計法

成績評価方法と基準

レポートの内容で評価する。

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

特になし

オフィスアワー・連絡先

質問・相談は下記メールアドレスへ
sun@person.kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

特になし

テキスト

土木学会：座屈設計ガイドライン

参考書・参考資料等

「Guide to Stability Design Criteria for Metal Structures」 by T.V.Galambos

開講科目名	空間システム創生論		
担当教員	難波 尚	開講区分	単位数
		後期	2単位
授業のテーマと目標 ハードな実体空間とソフトなシステム空間の調和的な融合を図る創発的な空間造形を目指し、知的、生命的なソフトウェアの活用手法について論じる。			
授業の概要と計画 			
成績評価方法と基準 			
履修上の注意(関連科目情報等を含む) 			
オフィスアワー・連絡先 			
学生へのメッセージ 			
テキスト 			
参考書・参考資料等 			

開講科目名	居住熱環境計画論		
担当教員	松下 敬幸	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと目標

個々の居室から建物内部全体における熱・湿気・空気環境の物理的な解析法と、健康かつ安全な空間形成のための制御方法と計画方法について講述する。

授業の概要と計画

- (1) 居室から建物内部全体における熱・湿気・空気環境の物理的な解析法を講述する。
- (2) 健康かつ安全な空間形成のための制御方法と計画方法を講述する。

成績評価方法と基準

成績はレポートの内容で評価する。評価が60点以上となったものを合格とする。評価の目安は、講義の内容を十分に理解して基礎知識を取得し、意欲的に講義に参加したと判断できる場合を優、講義の内容はよく理解したが積極性が十分でないと判断できる場合を良、講義内容について最低限の基礎知識は習得したと判断される場合を可とする。

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

オフィスアワー・連絡先

授業中に指示する。

学生へのメッセージ

テキスト

参考書・参考資料等

開講科目名	感性空間構成		
担当教員	高田 暁	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと目標

感性に関わる物理的環境の時間・空間的ファクターの解明し、そのモデル化を図り、それに立脚した感性空間の構成法について、例えば、建築空間における物理的環境の設計法などにふれ、感性空間構成法の確立を目指した授業を行う。

授業の概要と計画

感性に関わる環境工学分野の文献を用いて授業を進める。

成績評価方法と基準

成績は履修状況およびレポートにより評価する。

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

特になし。

オフィスアワー・連絡先

授業開始時に通知する。

学生へのメッセージ

積極的な議論を歓迎する。

テキスト

授業開始時に通知する。

参考書・参考資料等

授業開始時に通知する。

開講科目名	都市熱環境計画論		
担当教員	森山 正和	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと目標

都市やそれを構成する建物を良好な熱環境に保つために必要とされる環境システムの制御方法や計画方法について講述する。

授業の概要と計画

1)気候解析に基づく都市の環境計画
2)いわゆる新エネルギーによる地域熱供給の計画
以上の2点を中心に講述する

成績評価方法と基準

口頭発表により評価する。

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

特になし。

オフィスアワー・連絡先

授業開始時に指示する。

学生へのメッセージ

遠慮なく質問すること。

テキスト

適宜資料を配布する。

参考書・参考資料等

授業中に指示する。